

アーステクニカで注力するテーマ

注力するテーマ	関連するSDGs	活動方針	2030年までの目標 及び指標 (KPI)	実施・進捗状況 (2024年8月31日現在)
<p>【リサイクル・再資源化と、環境貢献度の高い技術・製品の開発・提供】</p> <p>～人と環境にやさしい 未来の創出～</p>	<p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> <p>”エネルギーを みんなにそし てクリーンに”</p> <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p> <p>”産業と技術革新 の基盤をつくら う”</p> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> <p>”住み続けられる まちづくりを”</p> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>”つくる責任 つかう責任”</p> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> <p>”気候変動に具 体的な対策を”</p>	<p>脱炭素社会実現のためには、選別・リサイクル率の向上が今後も加速していくと考えます。当社では次の既存製品を基礎として、当社の所属する川崎重工グループや他企業と協力連携し新たな製品の開発に取り組みます。</p> <p>○ RPF製造設備 (古紙と廃プラスチックから固形燃料を生成し、石炭の代替燃料としてCO2削減に貢献している)</p> <p>○ マテリアルリサイクル設備 (容器包装材などの廃プラスチックを洗浄・破碎・選別・ペレット化して再資源化している)</p> <p>○ 建設廃材リサイクル設備 (コンクリート・アスファルト廃材を破碎・選別しリサイクル材へ再資源化している)</p> <p>○ シュレツダ設備 (廃自動車など金属スクラップを破碎・選別し、金属材料へ再資源化している)</p> <p>○ 連続式製剤システム (設備重量・設置面積の軽減により、製造工程と製品性能の両面でエネルギー、CO2排出量、劇物となる廃棄量を削減している)</p> <p>○ 植織機 (廃棄物となる間伐樹木、剪定枝等を、微生物による分解を受けやすい状態に加工することで、肥料・堆肥のような農畜産物へ再生している)</p>	<p>プラスチック資源循環促進法に基づき、環境・社会課題の解決に向けての新たな資源循環を考慮した選別・リサイクル技術の確立、製品化。</p> <p>資源循環型社会の実現に寄与するケミカルリサイクル(化学反応を用いたリサイクル)の、前処理段階における廃プラスチック選別技術の確立、製品化。</p> <p>建設現場で排出された廃棄物の中で、最終処分率が最も高い建設混合廃棄物(がれきや木くず、金属くず等が混在した廃棄物)の、リサイクル率を向上させるための選別・リサイクル技術の確立、製品化。</p> <p>建物解体により発生したコンクリート廃材に含まれる骨材(砂利や砂)を、生コンクリート用にリサイクルする骨材再生技術、および破碎プロセスの効率性を高める技術の確立、製品化。</p> <p>製鉄会社にて需要が高まりつつある石炭を使用しない電気炉製鋼法において、製鋼原料となる鉄スクラップの破碎・選別技術の確立、製品化。</p> <p>【指標 (KPI)】 環境貢献度の高い技術・製品の納入件数</p>	<p>硬質プラスチック、軟質プラスチックの高度選別装置の開発を進めています。シミュレーションでは好評価が得られており、引き続き試験機による所定の条件の下での検証を行っています。</p> <p>建設混合廃棄物の選別・リサイクル技術では、選別技術の高度化を進めています。お客様へ納入した高度選別機実機を用いて、付帯設備を備えたプラント設備としての検討・検証を計画しています。</p> <p>コンクリート骨材再生技術では、製品ラインナップしている再生粗骨材製造ユニットのブラッシュアップを進めています。現在試験機による試験・分析を継続中です。</p> <p>省エネ性能を備えた自走式破碎機「SEASER」の初号機納入が決定しました。当該設備は、エンジンの回転出力を直接破碎機へ伝達する省エネ駆動により、当社比で20%以上のエネルギー効率向上を達成しています。</p> <p>製鉄会社向け電気炉用の鉄スクラップの破碎・選別技術では、強靱なスクラップを破碎できる大型シュレツダの開発を進めています。</p> <p>【指標 (KPI)】 2023年度は15件納入しました。</p>
<p>【地域社会・環境への貢献】</p> <p>～企業と地域が調和した 未来の創出～</p>	<p>1 貧困をなくそう</p> <p>”貧困をなくそう”</p> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> <p>”エネルギーを みんなにそし てクリーンに”</p> <p>8 働きがいも 経済成長も</p> <p>”働きがいも経 済成長も”</p> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> <p>”住み続けられ るまちづくりを”</p> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> <p>”気候変動に具 体的な対策を”</p>	<p>自治体と一体となり、居住や生活先としてふさわしい地域環境を整えるために、様々な形で社会貢献を考え実行していきます。</p> <p>また環境活動については、脱炭素社会の実現のため、再生可能エネルギー発電設備の導入によりCO2削減と当社および地域での有効活用に取り組みます。</p>	<p>当社では、左記の活動方針を踏まえた上で、まずは短期的な目標を設定することとしています。</p> <p>2024年度は、フードロスの削減、森林整備・里山活動といった食や環境保全をテーマに、従業員の啓発をすすめていきます。</p> <p>【指標 (KPI)】 地域貢献、環境活動の実施件数</p>	<p>当社は、2024年8月に八千代市社会福祉協議会の子ども支援事業「ふらっとホーム」を運営する子ども食堂3団体に対して、食材の提供や従業員による募金、そして当社からの寄附を行いました。運営されている福祉団体からは感謝のお言葉をいただき、今後も地域貢献に積極的に取り組んでまいります。</p> <p>その他のSDGsや環境に関わる活動については、当社のウェブサイトにて最新の取り組みをご覧いただけます。</p> <p>また地域スポーツへの協賛として、当社は引き続き千葉ジェッツを応援しています。</p> <p>【指標 (KPI)】 2023年度は7件実施しました。</p>